

外国人が国立公園体験

日光 誘客へモデルツアー

日光国立公園の新たな魅力を発掘して外国人誘客(インバウンド)の促進につなげようと、外国人を対象にしたモデルツアーが22



古民家を改装したギャラリーで担当者の話を聞く参加者＝22日午後、日光市内

日、2泊3日の日程で日光市内で始まった。

環境省の「外国人を対象とした国立公園魅力発信モデル事業」の一環で、7月から地元観光業者、在日外国人、事業のプロデューサーらがセミナーなどを通じて意見を交わしてきた。ツアーには米国、カナダ、

フランス人ら10人が参加。初日のこの日は、田母沢御用邸記念公園を見学した後、老舗の菓子店や古民家が残る西町エリアを散策。ホテルで日本酒を味わったり、古民家を改装したギャラリーで伝統工芸品の日光下駄に触れたりした。

神奈川県在住の米国人バロン・ナギさん(31)は「アメリカで国立公園と言えば自然公園。こうした街並みも国立公園の中にあるというのは意外な魅力。古民家の喫茶店も落ち着いた雰囲気ですごくだと思う」と話していた。

23日は中禅寺湖周辺、24日は奥鬼怒方面を視察する予定。ツアー終了後は参加者から意見を集め、地元観光業者らの今後の誘客策などに還元していくという。

(石幡愛)